平成19年度 魚沼自然塾 第4回レポート

平成２０年２月発行

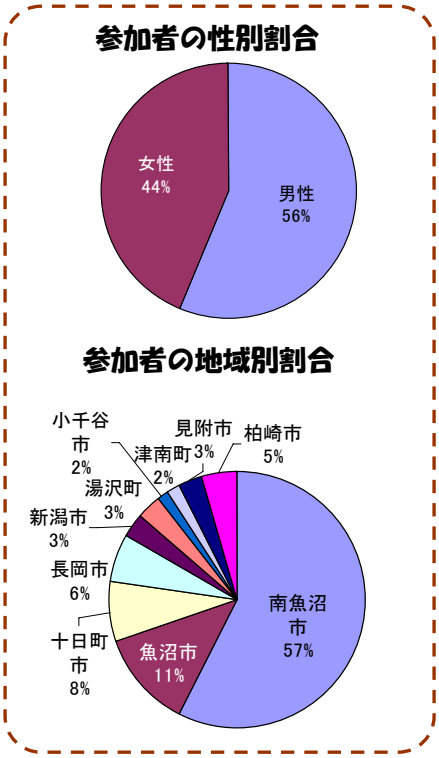
国土交通省湯沢砂防事務所

魚沼には時として厳しい面を見せる自然があり、地域ではそこにしかない魅力を発見して将来につなごうとする取り組みが行われています。平成１９年度魚沼自然塾はそんな「地域」をテーマとして秋までに３回を開催してきました。

その最終回を１月２６日土曜日、塩沢公民館で開催し、６６名のみなさんにご参加いただきました。今年度は湯沢砂防事務所創立７０周年にあたることから、「地域のあゆみと砂防事業７０年、そしてこれから」と題し、午前中は開催地塩沢にちなんだプレイベントを行い、午後は防災専門家伊藤和明氏の講演や魚沼のお宝を思い出しながらのゲームなどを通じて、地域について考えました。

◇◆　プログラム　◆◇

１０：３０　プレイベント「雪について知ろう！」
　　雪の結晶観察会と北越雪譜の朗読
１２：００　受付・フォトコンテスト投票
１２：５５　開会
　　ミニ講演会　伊藤和明氏
　　「歴史に見る地震と土砂災害」
　　地域づくりトーク＆ゲーム「地域のお宝ビンゴ」
１４：５０　魚沼自然塾修了式
１５：４０　閉会



会場の塩沢公民館。前日からの雪は程良い降り具合。

受付風景。雪にもかかわらず、多くの方が午前のプログラムより参加してくださいました。

今回も力作ぞろいのフォトコンテスト。

午前の部：プレイベント

魚沼のイメージの一つが雪。その不思議や楽しさを味わおうと、結晶観察会を開きました。自然観察指導員の南雲敏夫さんを講師にむかえ、屋外でルーペを使って雪の結晶を観察しました。

また、塩沢の有名人「鈴木牧之」は案外素顔を知られていません。第２回講座でご好評いただいた俵ヒカリさんに、「鈴木牧之と北越雪譜」の朗読をお願いしました。

参加者の様子

まず、南雲さんより観察方法を教わりました。

寒さもなんのその。室外で雪の結晶観察会開始。

ルーペを使って結晶の観察中。

『久しぶりに雪をじっくり見た』とおっしゃる方も。

室内に戻り、南雲さんから雪についてお話を伺いました。

講堂では「鈴木牧之と北越雪譜」を朗読。

＜＜参加者の感想＞＞

【雪の結晶観察会】

- 雪国に生まれながら雪の結晶があんなにきれいだと知らなかったので、参加できてよかったです。（南魚沼市／女性）
- 子供の頃以来で雪の結晶を観察でき、昔を思い出しました。（長岡市／女性）
- 冬の新潟は、毎年この時期になると除雪や雪かきで疲れますが、雪の結晶観察もあるんだなーと勉強になりました。（長岡市／男性）
- 雪というものはただ困ったものだったが、これも自然の一つであり、うまく受け入れていけたらと思った。結晶は美しかった。折あるごとに観察してみようと思う。（南魚沼市／女性）

【朗読について】

- 鈴木牧之という名前について、看板では知っていたけど、どんな事をやった人か知る事が出来た。（柏崎市／男性）
- 鈴木牧之の雪国の人らしい忍耐強さが本を完成させたのだと思う。（南魚沼市／女性）
- 大変な思いをして今の貴重な文献が残ったと思う。感心してもしきれない。（十日町市／女性）
- ぜひ書物を読んでみたいと思った。（南魚沼市・女性）
- 全部読んだことがあります。おおいに関心有り、現代人にもっとすすめます。（南魚沼市・女性）

午後の部：講演「歴史に見る地震と土砂災害」

湯沢砂防事務所創立 70 年に寄せて、元 NHK 解説委員の伊藤和明氏に講演いただきました。

伊藤和明氏（元 NHK 解説委員）

地震による土砂崩壊は昔からありました。
土砂が川を塞ぐことで天然ダム、いわゆる河道閉塞を引き起こします。
江戸時代に起こった善光寺地震（長野県）や飛越地震（富山県）ではその河道閉塞が決壊し、下流に大災害を引き起こしました。
新潟県中越地震でも河道閉塞を起こしましたが、すぐに対策が取られました。現代だからこういうことができるわけでありまして、昔だったら、とてもそのような技術がなかったでしょう。
日本は 3 分の 2 が山地。恐らく将来も地震による土砂崩壊が起こるでしょう。過去の災害の歴史に学ばなくてはいけません。

＜＜参加者の感想＞＞

- 幼い時、水害が起こるたびにサイレンの音に目がさめ眠れない日が続きました。私達が生まれる前から大水害があったのですね。（長岡市／男性）
- 昔から地震はあり、人はそれを乗り越えてきたのだなあ、と思いました。（南魚沼市／女性）
- 防災と砂防は切ってもきれない関係にあり、日本の歴史を振り返る事により学ぶ事が多くあると思いました。（南魚沼市／女性）
- こんなにも清らかな水が流れる河川の多い国にうまれたありがたさ、同時にその水のおそろしさを感じている。過去に魚沼地方にこんな大きな災害があったとは知りませんでした。（南魚沼市／女性）
- 災害をこれからに活かすことの大切さを考えました。山古志の天然ダムの復旧も大したものと思います。（魚沼市／女性）

トーク＆ゲーム「お宝ビンゴ」

第１～３回講座の参加者に事前アンケートを行い、「地域のお宝」を挙げていただきました。
それをビンゴゲームにしてチーム対抗で楽しみました

地元ゲスト
山田孝夫さん
（新潟日報六日町支局長）
早見純子さん
（ＦＭとおかまちアナウンサー）

ゲストの皆さん。左から伊藤和明さん、早見純子さん、山田孝夫さん

４つのチームに分かれて、ビンゴゲームを行います。

ゲストのコメントを聞きながらゲームが進行します。

チームは、さる・くま・カエル・カジカ。

優勝はくまチームでした。チーム全員に賞品が配られました。

山田孝夫さん
（新潟日報六日町支局長）

「遊びながら自分達のお宝を再発見して、それを育てていく」ということが大事なのではないでしょうか。つまり、足元を見つめて自分探しですね。地域のルーツを探すとか、まず足元をしっかりして、それを育てていくということが、きっと魚沼をさらにいい方向へ導くのではないかと思います。

今日のお宝は１８個でしたけど、これはごく一部。次もお宝ビンゴゲームがあるとしたら、次はまた違う隠された地域のお宝がきっと並ぶんじゃないかと思っております。

<<参加者の感想>>

- 名物有り名所有り、楽しかった。でも優勝できず、くやしかった。（柏崎市／男性）
- アイディアがとても良かったです。今までの参加した場所や風景等思い出され、楽しかった。（津南町／女性）
- 山田さんの話にハッとさせられた。足元をもっと見つめ直そう。（魚沼市／女性）
- 各地域の文化や産業をあらためて知りました。（湯沢町／女性）
- 楽しい時間を過ごすことが出来ました。次回はどんなお宝が出てくるのでしょうか。（南魚沼市／女性）
- またこんなゲームをしたいです。（南魚沼市／女性）

修了式・フォトコンテスト表彰式

最後に、平成１９年度魚沼自然塾修了式とフォトコンテスト表彰式を行いました。

修了証を受けられた方にインタビュー。「参加し，お宝を自分のまわりに見つけられてよかった」

入賞者には塩沢商工高校特製メダルが贈られました。

写真家平賀治雄さんから講評。特別賞には平賀さんの作品が贈られました。

コーラス「ひまわり」が季節の歌などを披露し、なごやかに終えることができました。

◆◇　受賞作品　◇◆

魚沼自然塾賞
「恐くない」

イットー（伊藤）賞
「まけるものか」

湯沢砂防賞
「講義終了後、水に親しむ」

審査員長特別賞（平賀賞）
「こわくないよ」

編集後記

今回は雪の降る中開催しましたが、たくさんの方にご参加頂きました。湯沢砂防では、「まずは皆さんに地域を知っていただきたい、新しい発見をすることを楽しんでいただきたい、そしてちょっとだけ勉強していただいて何か知識になれば」、という思いで毎回取り組んで参りました。来年度は魚沼自然塾が１０才になります。皆様に、またお会いできることを楽しみにしております。１年間、本当にありがとうございました。

お問い合わせ先：国土交通省 湯沢砂防事務所「公開講座事務局」
TEL：025－784－2073　FAX：025－784－2441
ホームページ：http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/